

# うめ栽培情報 第1号

令和7年3月27日  
稲積梅の里振興会  
特産氷見稻積梅生産組合  
富山県高岡農林振興センター

## 1 生育概況

開花始めは、3月24日頃（前年+30日、平年+16日）と前年、平年よりかなり遅くなりました。ミツバチ等の訪花昆虫の働きが、低温により鈍くなった場合、筆や羽毛などの毛ばたきによる人工授粉を行うなど、結実確保に努めてください。

## 2 今後の病害虫防除

3月下旬頃から4月上旬頃は、かいよう病の重点防除時期です。下記薬剤で防除を行ってください。最初の伝染源は2年生枝に発病する潜伏越冬枝病斑（写真1）です。病原細菌は伝染源の病斑から雨滴によって飛散します。園地を見回り、感染源の潜伏越冬枝病斑がみられる枝は切除し、園外に持ち出し、適切に処分してください。



写真1 かいよう病の潜伏越冬枝病斑

時 期	対象病害	散布薬剤名	希釀倍数	10a 当 散布量	100 リッタ当 必要薬剤(g, mL)
3月30日～ 4月1日頃 (葉芽発芽前まで)	かいよう病	ムッシュボルドーDF※	500倍	200リッタ	200g
4月9～ 11日頃	かいよう病	マイコシールド	1,500倍	200リッタ	66g

※ムッシュボルドーDFは、開花期間中の散布を避け、葉芽発芽前までに散布してください。

## 3 カイガラムシ類対策について

カイガラムシ類（写真2）は、枝、幹等を吸汁加害し、多発すると枝を枯死させることができます。カイガラムシ類多発樹では、枝幹の虫をワイヤーブラシ等（写真3）で削り落とし、密度を減らしてください。この時、花芽を傷つけないように注意してください。また、部分的にカイガラムシ類が多発している場合、多発部分を切除し、枝は園外に持ち出して処分してください。



写真2 枝に寄生するカイガラムシ類



写真3 ブラシ例

上：ワイヤーブラシ（真鍮製）

下：ナイロンブラシ（毛が固く、密度が高いもの）